

目黒区・東城区・中浪区との三区間スポーツ交流事業及び
日中友好交流都市中学生卓球交歓大会の事業実施報告について

1 三区間スポーツ交流事業

(1) 目的

友好都市である中国北京市東城区及び友好交流覚書を取り交わした韓国ソウル特別市中浪区との継続した友好交流を推進するため、次代を担う子どもたちによるスポーツ交流を行う。

(2) 主催者

目黒区・中国北京市東城区・韓国ソウル特別市中浪区

(3) 日程

平成29年7月25日(火)から29日(土)まで

(4) 会場

中華人民共和国北京市東城区

(5) 派遣団等

三区間スポーツ交流団

【団長】第十一中学校長

【団員】指導担当教諭2名(第七及び第八中学校教諭)

養護教諭1名(大鳥中学校教諭)

目黒区立中学校2年生男子生徒12名

第一中学校	1名	第七中学校	2名	第八中学校	2名
第九中学校	1名	第十中学校	1名	第十一中学校	2名
東山中学校	1名	目黒中央中学校	1名	大鳥中学校	1名

<合計16名>

【事務局】

文化・スポーツ部長、文化・交流課長、スポーツ振興課長(26日から参加)、教育指導課指導主事

*目黒区長、教育長、秘書課長が7月26日(水)～28日(金)に訪問

(6) 概要

- 7月25日 北京空港到着、在日本大使館訪問、大会会場にて練習
東城区主催歓迎晩餐会
- 26日 バスケットボール大会開幕式
第一試合：東城区対中浪区
第二試合：目黒区対東城区
- 27日午前 第三試合：目黒区対中浪区
バスケットボール大会閉幕式

- 27 日午後 三区間スポーツ交流団…北京市第五中学校にて伝統文化交流
区長…在日本大使館・北京市人民対外友好協会・東城区人民
代表大会及び東城区政府表敬訪問
- 27 日夕方 東城区主催送別晚餐会
- 28 日 北京市内周辺文化施設見学
- 29 日午前 龍潭公園（目黒の桜）見学
- 29 日午後 帰国

(7) まとめ

三区間スポーツ交流事業は、平成27年7月に区長が東城区を訪問した際、当時の東城区長に次代を担う青少年のスポーツや文化交流を、中浪区も交えた三区間の交流事業として実施したいという提案から実現したものである。その後、28年7月の実務者協議、29年6月の事前調査を経て、ホスト国の東城区政府の多大なる協力の下に開催することができた。

参加した区立中学校第2学年12名の生徒にとって、文化の違いや言葉の違いを乗り越え、バスケットボールというスポーツを通じて、同じルールの下、全員が全力でプレーできたことは、お互いを理解するきっかけとなる貴重な経験となった。

また、現地での伝統文化体験や古い建物と現代的な店舗が立ち並ぶ街並みの散策、目黒の桜が植樹されている「龍潭公園」では、その場に居合わせた住民との交流によって、北京市民生活の一端に触れるなど、日本では経験できない交流を体験することができた。

今回の事業実施により、東城区、中浪区とのより一層の交流を図ることができた。特に、生徒たちにとっては、この経験を今後の国際交流を初めとした様々な分野で生かしてくれることを期待するところである。次年度以降については、今回と同様の三区間スポーツ交流事業を実施していくことを三区で確認した。

2 中学生卓球交歓大会

(1) 目的

日中国交正常化45周年を記念し、日中両国の中学生による卓球交歓大会を通じて、両国の友好都市、友好交流都市の地域間の友好関係とスポーツ界の相互交流の発展を促進し、特に21世紀を担う青少年の友好交流の輪を大きく広げる。

(2) 主催者

【日本側】公益社団法人日本中国友好協会、公益財団法人日本卓球協会

【中国側】中国人民対外友好協会、中国日本友好協会、中国卓球協会

(3) 日程

平成29年8月3日（木）から8日（火）まで

(4) 会場

中華人民共和国北京市内

(5) 派遣団等

日中友好卓球交歓団

【団長】 目黒区卓球連盟常任理事

【団員】 指導担当教諭 1 名（目黒中央中学校教諭）、目黒区卓球連盟理事 1 名

目黒区立目黒中央中学校中学生 2 名

男子 1 名（3 年生）、女子 1 名（1 年生）

文化・スポーツ部長、スポーツ振興課スポーツ事業係長

<合計 7 名>

(6) 概要

- 8 月 3 日 北京空港到着、チーム顔合わせ、監督会議
- 4 日 大会開会式、練習
- 5 日 大会予選リーグ
- 6 日 大会決勝トーナメント、大会閉会式、天安門他見学
- 7 日 万里の長城他文化施設見学、祝賀レセプション
- 8 日 帰国

(7) まとめ

日中国交正常化 45 周年記念日中友好交流都市中学生卓球交歓大会は、5 年ごとに実施され、今回で第 6 回となる。区としては、平成 3（2001）年 10 月に旧崇文区との友好交流協定締結以降、初の参加である。

友好都市である東城区の中学生と同じチームを組み、予選リーグ及び決勝トーナメントを戦った。結果は、予選を通過し、トーナメント準々決勝進出となった。男女 1 名ずつの構成による複合ダブルス種目では、相互の信頼感に基づくプレーが見られ、試合の結果以上の交流が行われたところである。また、チームでの文化施設見学は、試合における厳しさとは違う姿を見せ、相互の中学生生活を知ることができた。

今回、東城区から北京市第 115 中学校の生徒が参加したが、第 115 中学校副校長から目黒区の中学校との交流を希望する旨を伺った。この大会をきっかけとした、学校同士の交流の広がりを期待する。

以 上